

平成30年 1月30日

平成30年3月期 第3四半期 決算のお知らせ

【単体】預金・貸出金ともに過去最高残高 四半期純利益 39億 2百万円

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、1月30日（火）、平成30年3月期（平成29年度）第3四半期の決算を発表いたしました。

1 預金および貸出金の状況（単体）

預金（譲渡性預金を含む）の期末残高は、個人預金および法人預金が増加したことにより、前年同月末比 372 億円増加し 2 兆 6,982 億円となりました。（増加率は 1.3%）

貸出金は、事業先向け貸出および個人ローンが増加したことにより、前年同月末比 418 億円増加し 1 兆 6,680 億円となりました。（増加率は 2.5%）

この結果、預金・貸出金ともに過去最高残高となりました。

2 損益の状況（単体）

経常収益は、国債等債券売却益の増加などにより、前年同期比 50 百万円増収の 304 億 85 百万円となりました。

本業での利益を示す**コア業務純益**は、資金利益の減少により、7 億 27 百万円減少し 56 億 13 百万円となりました。

経常利益は、与信関係費用は減少したものの、コア業務純益の減少により 1 億 82 百万円減少し 48 億 52 百万円となりました。

一方、**四半期純利益**は、法人税等の減少により 30 百万円増加し 39 億 2 百万円となりました。

3 不良債権の状況（単体）

金融再生法開示債権は、前年同月末比 80 億円減少し 328 億円となりました。この結果、不良債権比率は 0.54 ポイント低下し 1.95%となりました。

なお、詳細につきましては、決算短信をご参照ください。